

2026年1月7日

Honda の航空機事業子会社のホンダ エアクラフト カンパニー（本社：米国ノースカロライナ州グリーンズボロ市 取締役社長：山崎 英人）は、現地時間 2025 年 12 月 18 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

HondaJet の機体性能を向上させる新しいパフォーマンスパッケージを発売 ～発売から 10 周年の節目に、既存機の性能向上を加速～

Honda の航空機事業子会社であるホンダ エアクラフト カンパニー（Honda Aircraft Company 以下、HACI）は、初期型 HondaJet（ホンダジェット）および HondaJet APMG 機※のオーナー・運航者向けに、既存機の機体性能を向上させる新しいパフォーマンスパッケージ「APMG S（エーピーエムジー エス）」を 2025 年 12 月に発売しました。



APMG S は、HondaJet を購入した後も最新機種同等の先進技術にアップグレードすることで利便性を向上し、長期にわたりお客様に HondaJet の新しい価値を体験いただくことを目的としたアップグレードパッケージです。本パッケージの適用により、HondaJet Elite S（エリート エス）の特長である「Advanced Steering Augmentation System (ASAS)」による操縦精度や横風対応能力の向上など、先進技術がもたらす快適な飛行を提供します。

本パッケージは、既に米国連邦航空局（FAA）の認証を取得しており、米国では HACI のグリーンズボロサービスセンターで提供を開始しています。また各国の航空局認証を取得後、認定サービスセンターを通じて順次グローバルで提供予定です。

また、HACI が展開する中古機販売プログラムにおいても、APMG S を適用した HondaJet 中古機の販売を 2026 年より米国で開始予定です。HACI の中古機販売プログラムでは、HondaJet ブランドが誇る高い品質と信頼性を持つ、徹底した検査や整備を経た機体を取り扱っています。今回 APMG S 適用機が加わることで、さらにお客様の選択の幅が広がります。

HondaJet は、2015 年 12 月に米国連邦航空局（FAA）から型式証明を取得し、第一号機となる HondaJet を納入して以来、発売 10 周年を迎えました。HACI はこの 10 年間、革新的な技術と信頼性で、ビジネスジェット市場において着実に事業を拡大し、世界中のお客様に新しい価値を提供し続けてきました。

現在 HACI は、新型小型ビジネスジェット機「HondaJet Echelon（ホンダジェット・エシロン）」の開発を進めており、同時に既存の HondaJet に対しても最新技術を提供し続けています。今後も、さまざまな技術革新、新たな価値を創出し、空の移動の喜びを追求していきます。

※ 2018 年発売のパフォーマンスパッケージ「APMG（Advanced Performance Modification Group）」を適用済みの機体

【HondaJet APMG S 適用による主な性能の向上内容】

- ・アビオニクスのソフトウェアおよびハードウェアのアップグレードによる処理速度の向上
- ・ASAS の搭載による、操縦精度や横風対応能力の拡大
- ・HondaJet APMG および HondaJet APMG S 未適用の初期型 HondaJet と比較し、最大離陸重量が 300 ポンド（136kg）増加
- ・積載量や燃料情報を入力すると離着陸時の重量を自動で推定する、グラフィカルな重量・重心計算機能を追加

【ホンダ エアクラフト カンパニー（Honda Aircraft Company, LLC）概要】

設立：2006 年 8 月

出資形態：American Honda Motor Co., Inc. 100%出資

代表者：取締役社長 山崎 英人（やまさき ひでと）

所在地：米国ノースカロライナ州グリーンズボロ市